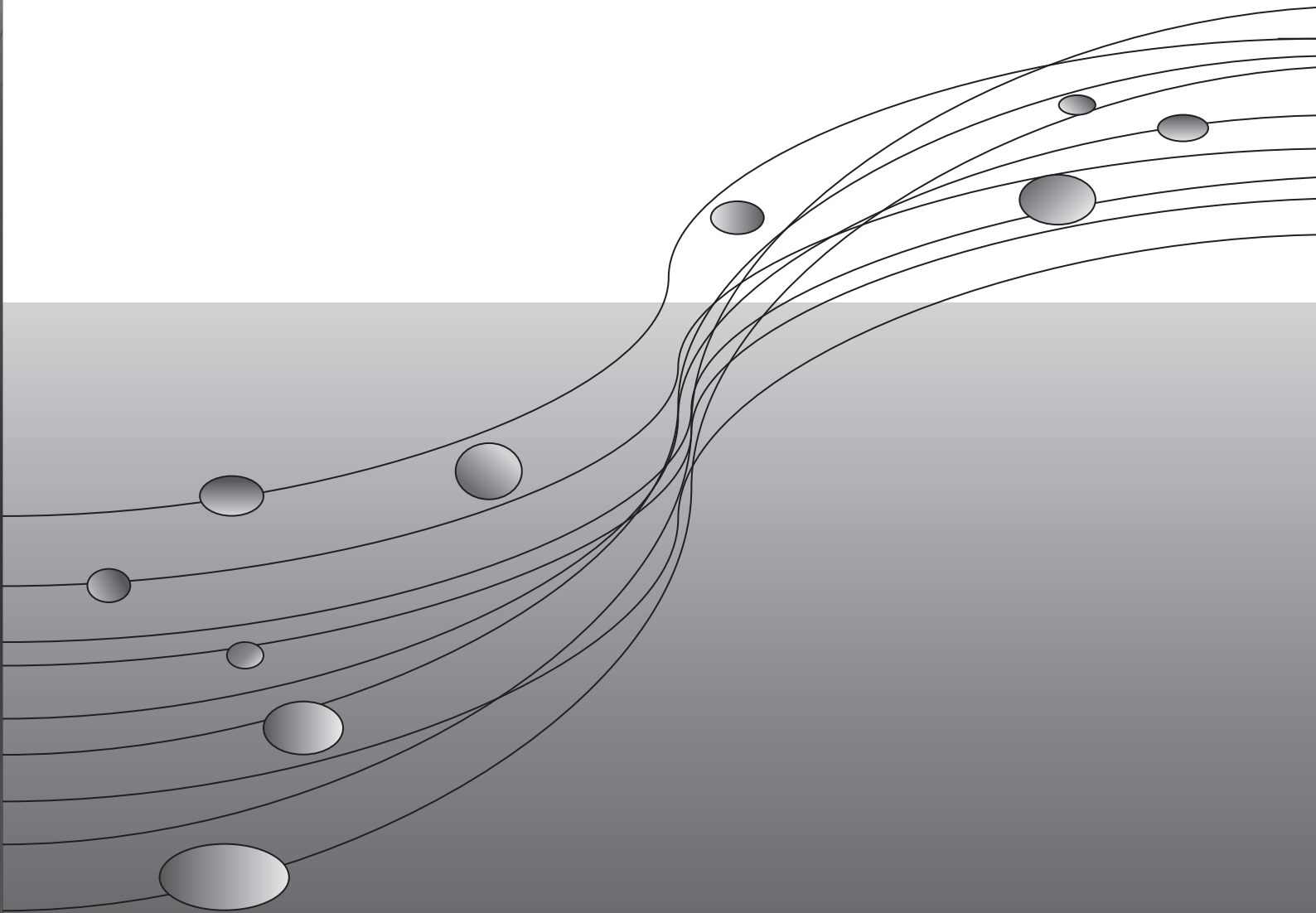


JCD

Kansai

2013.3.Vol.68



「色」と「光」を自在に演出

LED調色・調光ダウンライト

□ 色温度2700K~5000K □ 明るさ5%~100%



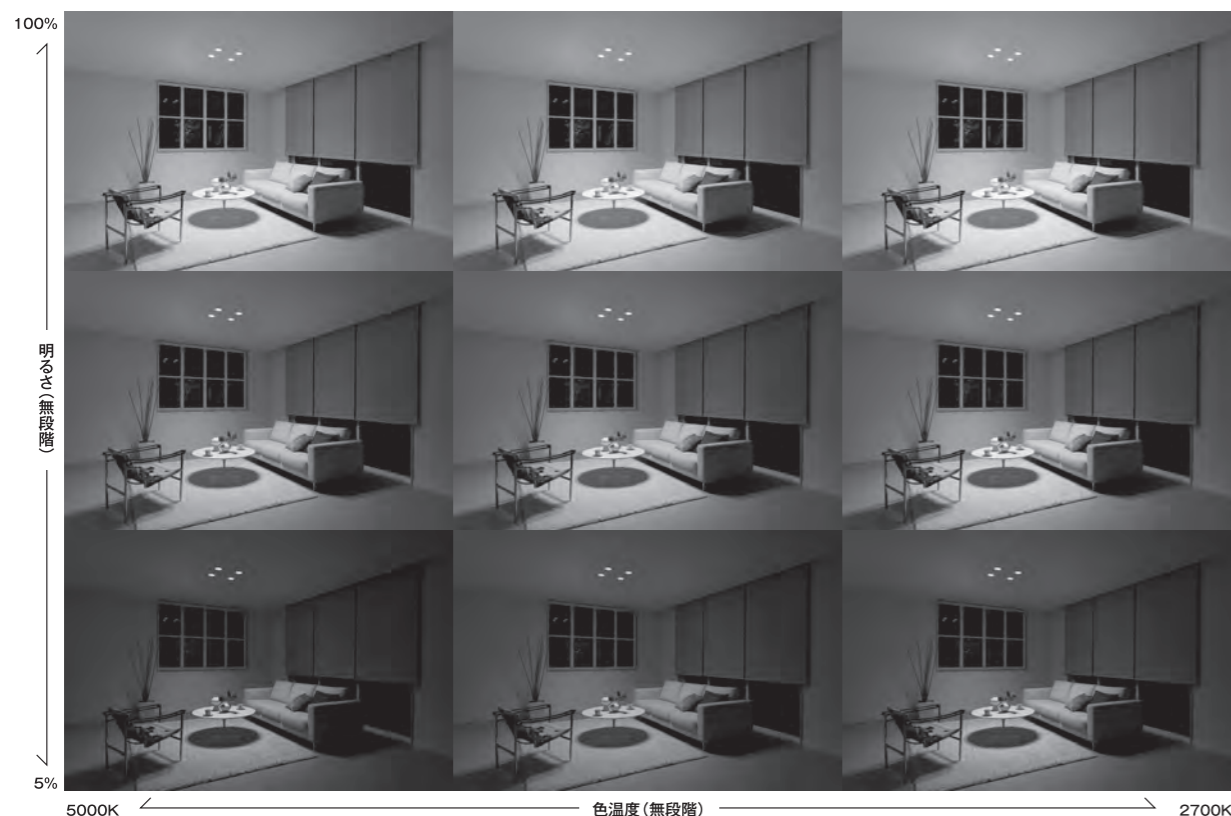
2013年3月16日発売

白熱灯60Wタイプ / LED8W / 調色・調光 / Φ100 / 高気密Se形
DDL-4245FW (電球色 2700K~昼白色 5000K)

8,800円 (税込 9,240円)

白熱灯100Wタイプ / LED11.6W / 調色・調光 / Φ125 / 高気密Se形
DDL-4246FW (電球色 2700K~昼白色 5000K)

11,500円 (税込 12,075円)



「シーンコントローラー」(DP-37643) 使用で 色温度・明るさのダブル制御



→調色・調光機能で空間のシーンに合わせて
色温度・明るさの調節が可能

DP-37643 ¥48,000(税込¥50,400)
■連続使用可能台数 8台まで ■回路数 4回路位相制御
■シーン記憶再生 4シーン (4回路 内2回路PWM制御可能)

「信号制御調光器」(DP-36366F) 使用で 色温度or明るさのどちらかを制御



→色温度(又は、明るさ)のみの調節は、
この調光器で可能。

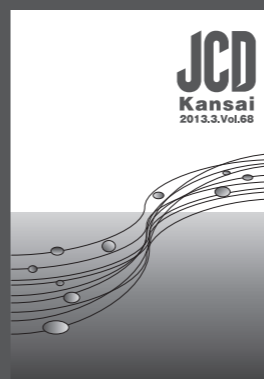
★2台使用すればどちらもコントロール出来ます。
DP-36366F ¥17,800(税抜¥18,690)
■連続使用可能台数 20台まで

大光電機株式会社
本社/Tel.(06)6222-6240 Fax.(06)6222-6252
〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3-2-7高麗橋ビル

DAIKO
http://www.lighting-daiko.co.jp

JCD Kansai 2013.3 Vol.68

[表紙・デザイン]
「脈動」
MINO CREER (ミーノ・クレエ)
友田みのり



2013年(平成25年)3月号
vol.68 平成25年3月発行
発行/一般社団法人
日本商環境デザイン協会
関西支部
〒559-0034
大阪市住之江区南港北2-1-10
ATCビル ITM棟10階A-1
(財)大阪デザインセンター内
Tel./Fax. 06-6613-5557

アーカイブ研究会
委員長/岡島 昇
担当理事/三嶽 穂積
委員/森田 昭一
金沢 明彦
山田 悦央
小川 芳輝
制作/グラフィックアーツ ベルテ

一般社団法人 日本商環境デザイン協会 関西支部
JCD KANSAI 2013年3月 第68号

04 ● 特集

JCD Kansai デザイナーズアクセス2012

協賛企業商品展示 ————— 橋本 健二
クリエーターズトーク
2012年度ベストデザイナーズ表彰
クリエーターズ・ライブ
デザイナーアクセスを終えて・・・

07 ● 報告

委員会報告

JID/JIDA/JCD 3団体共催 関西デザイン学生シンポジウム2012 ——— 東 潤一郎
SODA事業「冬休み!親子de体験セミナー こどもたちと創る“あかりのある”空間」—— 中村 裕輔
ワークショップ 模型でお店をつくろう!
あかりのセミナー
日本の空間デザイン展2012 ————— 長町 志穂
デザインシンポジウム2012~まなごしのデザイン~ ——— 長町 志穂

10 ● 報告

JCD関西支部活動報告

2012年度支部総会 ————— 岡島 昇
関西デザインネットワーク 2012~2013 (USD-O) ——— 白井 進

12 ● 連載

Working Now

新入会員紹介 ————— 赤松 茂
松本 浩作
新入賛助会員紹介 ————— (株)オトミカ
日本インシュレーション(株)

14 ● 報告

アーカイブ委員会報告

JCD関西支部ホームページリニューアル ————— 岡島 昇

別紙 ● 三嶽穂積氏追悼文

白井 進
長町 志穂
衣笠 和宏

JCD Kansai デザイナーズアクセス2012

JCD Kansai デザイナーズアクセス2012

JCD Kansai デザイナーズアクセス 2012 実行委員 委員長 橋本 健二

今回はトークのゲストはアート・インテリア・建築などいろいろな方のお話を伺いました。

最近では住空間を使ったお店、公共空間を使ったお店など、それらをプロのデザイナーが関わらずに創られている刺激的な空間がよく見られます。こういった現象を彼らはどう捉えているのでしょうか。今回は多彩な日常編集化、エキサイティングなビル・リユースの仕掛け人達、情報発信をする異色のブックストアオーナーなど多様な方々にご登壇いただきました。



<デザイナーズアクセス2012 『デザインの結界』>

日時：2012年11月16日(金) 13:00~22:30

会場：名村造船跡地 Studio「PARTITA」

形式：トークイベント+デザイナー表彰+ステージライブ

出展企業：24社(内、賛助会員企業19社)

来場者：280名

ゲスト：アサダワタル/日常編集家

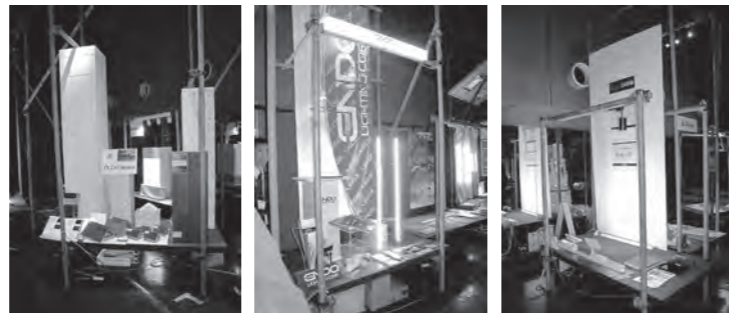
BMC=ビルマニアカフェ/高岡伸一・阪口大介・

姉崎由美子・岩田雅希

中川和彦/スタンダードブックストアオーナー

■協賛企業商品展示

この日だけのためにデザインされた個性的なブースインスタレーション。いつもと違うディスプレイをご協力いただきながらつくり上げて頂きました。会場を囲むように構成された、足場単管を組んだブースで各賛助会様は商品を個性的にディスプレイされ、又ステージ上で各企業のPRを行っていただきました。



■クリエイターズトーク 18:00~20:00

トークの場もステージ上ではなく、中央のオーディエンスを囲むようにゲストを配置し会場全体が一体となるような構成のなか、多彩な仕掛け人達をむかえ、「今」を感じるスペシャルトークををアリーナ方式にて開催しました。トークのテーマは『デザインの結界』、プロとアマを分ける結界はあるのか? 専門性とは? 21世紀に入りプロが介在せず家ができたり場が出来たりあるいは店が出来ていることに対して、

世の中何かが変わってきているのではないだろうか。そういった時代の呼吸感をお持ちの方に、活動を通じて感じられていることを聞いてみました。



■2012年度ベストデザイナーズ表彰 20:00~20:30

関西で活躍する40歳以下のデザイナーを表彰。様々な推薦を受けたデザイナーの中から2012年度のグランプリ1名、準グランプリ2名を表彰。審査基準は基本的にJCDデザインアワードのように個々の“作品”を競い合うのではなく、1年間を通してその年に、デザイン活動を通じて最も活躍した40歳以下の『若手デザイナーを中心に“人”を引き出す』ことに軸足を置いた企画であるということです。したがって2011年1月から2011年12月までの期間に商環境デザインにおいて、社会的・経済的に市場にもっとも影響を与え、活躍したと思われるデザイナーであり、さらに関西地域に根ざした文化や伝統の継承と進化に対する貢献度が選考基準となりました。最終10人に絞られた候補者の中から当日最終審査を行い、グランプリ1名、準グランプリ2名を選出し



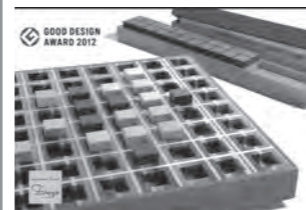
ベストデザイナーズ賞 準グランプリ

橋口新一郎

株式会社 橋口建築研究所

最近の主なプロジェクト

- LaLa clesso(サウスゲートビル店)
- ボール紙とベニヤの茶室
- Dage(オリジナルブランド)



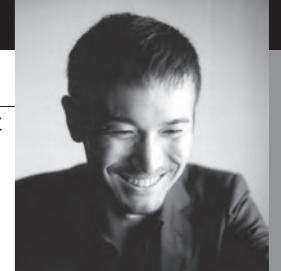
ベストデザイナーズ賞 グランプリ

松浦竜太郎

株式会社 乃村工藝社

最近の主なプロジェクト

- 阪急MEN'S TOKYO 全体監修・環境デザイン(有楽町)
- All Day Dining REMONE(中之島)
- リーガロイヤルグラン沖縄 DINING&BAR Aiju Aiju(沖縄)



ベストデザイナーズ賞 準グランプリ

出口智彦

株式会社 乃村工藝社

最近の主なプロジェクト

- ぐりこやKitchen(東京駅一番街)
- アーバンリサーチストア(東京ソラマチ)/アーバンリサーチストア(ラゾーナ川崎プラザ)
- ネットスクエア(エキマルシェ大阪)



JCD Kansai デザイナーズアクセス2012

JCD Kansai デザイナーズアクセス2012実行委員 委員長 橋本 健二

■クリエイターズ・ライブ

21:00 ~ 22:30

JCDのデザイナー達が趣味を越えて活動するバンドによるライブパフォーマンス。昨年に引き続き冬のイベントが今年も再現しました。ライブ出演協力はプロ顔負け「橋下村工務店」「チャーシュー大石とウイナーガールズ」「ヒステリックハリケーン」の3バンド。



《デザイナーアクセスを終えて・・・》

今回のイベント終了後にお聞きしました賛助会員様からのご意見は大変貴重な内容でした。

「今後参加しない」…ライブの意味は？今まで聞こえにくかった言葉の数々…私自身このようなご意見を聞かせていただき大変よかったです。集客人数だけにこだわらず内容はどうだったのか…私自身も今まで気になることが、いろいろありました。

◆デザイナーのトーク

「あたりさわりのない意見を言い、なんとなく納得していくような場はおもしろくないなあ…」

「デザインの世界はグローバルな環境になり、インテリア・建築・グラフィックのさまざまな人たちの交流が活発になりました。」

もともとそうだったような気もしますが・・・

「デザイナーたちは気の合う人たちが集まり会費を払うような協会などに参加しなくても」

いろいろなイベントを企画していく活動を始めました。

「JCDはどう進むべきなのか…」

今回のトークは、あえてそんなことを考えながら人選してみました。

◆賛助会員様の展示方法

ディスプレイ方法は単管パイプで構成しました。この方法の反省点として会員の方々ともっと打ち合わせの時間を取り、構成の仕方を考えるべきでした。

◆自己満足的なライブ

賛助会員さんにご迷惑な場だったのか？

反面、グローバル化され均一的できれいな個性のないデザインに対して何か提示もしていけるような場を考えたいとも思うのですが

質量とは何か…

空気を造るとは何か…

今回のイベントは今後の活動を考える上でのターニングポイントだったのかなと考えます。



委員会報告

JID/JIDA /JCD 3団体共催 関西デザイン学生シンポジウム2012

一般シニア向けサロン等実行委員会 委員長 東 潤一郎

＜関西デザイン学生シンポジウム2012＞

日時：2012年10月12日

場所：大光電機ショールーム「ライティングコア大阪」

コメンテーター：玉井恵理子氏 (JID)、藤本英子氏 (JIDA)、東潤一郎 (JCD)

JIDA、JID、JCDの3団体共催の《関西学生デザインシンポジウム2012》が、去る10月12日に大光電機ショールーム、「ライティングコア大阪」で開催された。今年のテーマは「超(ちょう、こえる)」。

・デザインの力を超發揮して超すごいムーブメントを興したい。

・人々に共感を得る超デザインとは？

・デザインから発想した「超」とは？

を、3団体から選出された学生達が取り組み、プレゼンテーションが行われた。

Team JCDのメンバーは、関西大学 環境都市工学部 建築学科の、村上和弘さん、中山優さん、植地惇さん、関谷大志朗さんの4名。発表内容は、兵庫県丹波市氷上町で毎年夏行われる「愛宕祭り」の行事「造り物」に、関西大学学生有志のグループ「ATACOM」で参加。学生内コンペで選ばれた作品を、町に住み込み製作し、町の住民と一緒に祭りを盛り上げるといった活動の報告であった。デザインしたものを自分達で実際に製作し、それを通じて、歴史ある行事に参加し、そ

れに触れる人たちとコミュニケーションする。まさに人々と共感する超デザインであり、超体験だったのではないだろうか。また、近年のデジタルデバイスの発展により、手軽に美しく見栄えの良いプレゼンテーションが簡単に出来てしまうなか、彼らの発表は、表現のテクニックだけでなく、中身のしっかりしたものであった事に好感が持たれた。

コメンテーターには、JIDから玉井恵理子氏、JIDAから藤本英子氏が参加。プロの視線からの辛口の批評ではあるが、それを「越える」愛情溢れるコメントを多くいただいた。JCDからは東潤一郎がコメンテーターとして参加した。



SODA事業「冬休み!親子de体験セミナー こどもたちと創る“あかりのある”空間」 SODA事業実行委員会 委員長 中村 裕輔

●ワークショップ 模型でお店をつくらう!

こどもたちそれぞれの自由な発想を生かして商店街に並ぶような小さいお店を創りました。模型の大きさは40cm四方程度でスケールは約1/7。まず、何屋さんを創るのか決めて、マテリアルを選びながらイメージを膨らませて作業を進めてもらいました。又、最後に照明をセッティングするので、照明の光り方や色もサンプル模型を見て意識してもらおうようにしました。

日頃あまり見たことがない本物の建材を手に取り、こどもたちの高揚した感じやイメージがどんどん広がっていく様子がひしひしと伝わってきました。

最後の講評のときに何人かのこどもたちに自分のお店の自慢したいところやこんなお店にしたかったということを発表してもらいました。

＜冬休み!親子de体験セミナー こどもたちと創る“あかりのある”空間＞

日時：2012年12月22日(土) 10:30~16:30
場所：大阪市立住まい情報センター 3階ホール
セミナー講師：蒲 秀樹、木村倫香
JCD関西支部スタッフ
参加者：子供31名、保護者28名で合計59名

お店のインテリアと商品と店員さん。こどもたちは誰に教わることもなくお店を構成する大事なことから理解しているようで驚きの連続でした。

短い作業時間でみなさんの作品が完成できるが心配していましたが、保護者さんの力添えもあり、ほぼ全員の子供たちの作品が完成しました。

最後にはみんなで作品を並べ商店街をつくりました。



●あかりのセミナー

蒲 秀樹氏を講師に行った「あかりのセミナー」では、LED と他の電球（白熱電球、蛍光灯）の根本的な

原理の違いの説明からはじまり、各々の特徴を参加してもらった子ども達に発電機を回す作業を通じて、解かりやすく説明しました。又、LED 電球の正しい使い方を紹介し、省エネへの手引きを説明しました。

参加者は子供 31 名、保護者 28 名で合計 59 名の方に来ていただきました。

参加いただいた皆様に、JCD 関西として、今後も定期的にこのような催しを開催していく旨を報告し、盛況にセミナーを終了することができました。



日本の空間デザイン展2012

支部長 長町 志穂

『日本の空間デザイン展』は、日本を代表する空間デザイン系4団体(社団法人・日本商環境設計家協会、一般社団法人・日本空間デザイン協会、社団法人・日本インテリアデザイナー協会、公益社団法人日本サインデザイン協会)が、毎年各団体・ジャンルごとに行なっているアワードでの【優秀な入賞作品】を一堂に集めた作品展。スペースデザイン・商環境デザイン・インテリアデザイン・サインデザイン等のその年の優秀作品と一緒に展示されるので、まさに「現在の日本の空間デザインの潮流」を伝えるものだ。また、若手クリエイターや学生、さらに社会にも広く情報発信す



＜日本の空間デザイン展2012＞
日時：2012年12月21日・22日
場所：大阪府立 江之子島文化芸術創造センター

ることにより、空間デザインを通じた環境への意識や関心を高めることを、その主な目的としている。

本年度の関西での開催は、開館したばかりの『大阪府立 江之子島文化芸術創造センター』で、2012年12月21日(金)22日(土)の二日間行われた。

4団体の力作が美術館の展示室にならび、空間デザインの発表の場にふさわしい華やかな展覧会であった。



日本の空間デザイン展「デザインシンポジウム2012～まなざしのデザイン～」

支部長 長町 志穂

12月22日(土)17:00より、2012年度のDSA空間デザイン大賞を受賞したハナムラチカヒロ氏をゲストに「デザインシンポジウム2012～まなざしのデザイン～」が、同センターの地下スタジオスペースで行われた。

まずハナムラチカヒロ氏から、自身の活動の様子やこれからの創作についての思い、受賞作品である「霧はれて光きたる春」(大阪市立大学附属病院でのアートインスタレーション)をはじめとする作品解説などが行われた。非常にエネルギーを惹きつける画像とトークで、40名を越す観客を魅了し、予定の1時間を超えた充実の基調講演であった。

その後、ハナムラ氏と東京から来阪していただいたJCD理事長の飯島直樹氏との対談となり、社会におけるデザインの役割や、世代を超えて理解できるクレー



＜デザインシンポジウム2012～まなざしのデザイン～＞
日時：2012年12月22日
場所：大阪府立 江之子島文化芸術創造センター
ゲスト：ハナムラチカヒロ(大阪府立大学)
飯島直樹(KU/KANデザイン機構 理事長)

ションの原点などについて話題が広がり非常に有意義なトークイベントとなった。

トークイベントの終了後は、ハナムラチカヒロ氏、飯島直樹氏をはじめ、関西のデザイン4団体のメンバーとトーク来場者によって懇親パーティーが行われた。JCD関西では、同日開催の「SODA事業」スタッフも合流し2012年イベントの最後をかざる楽しく有意義な懇親会となった。



2012年度支部総会

アーカイブ研究会 委員長 岡島 昇

6月12日(火)、会場は今年度から新たにメビック扇町で支部総会が開かれました。

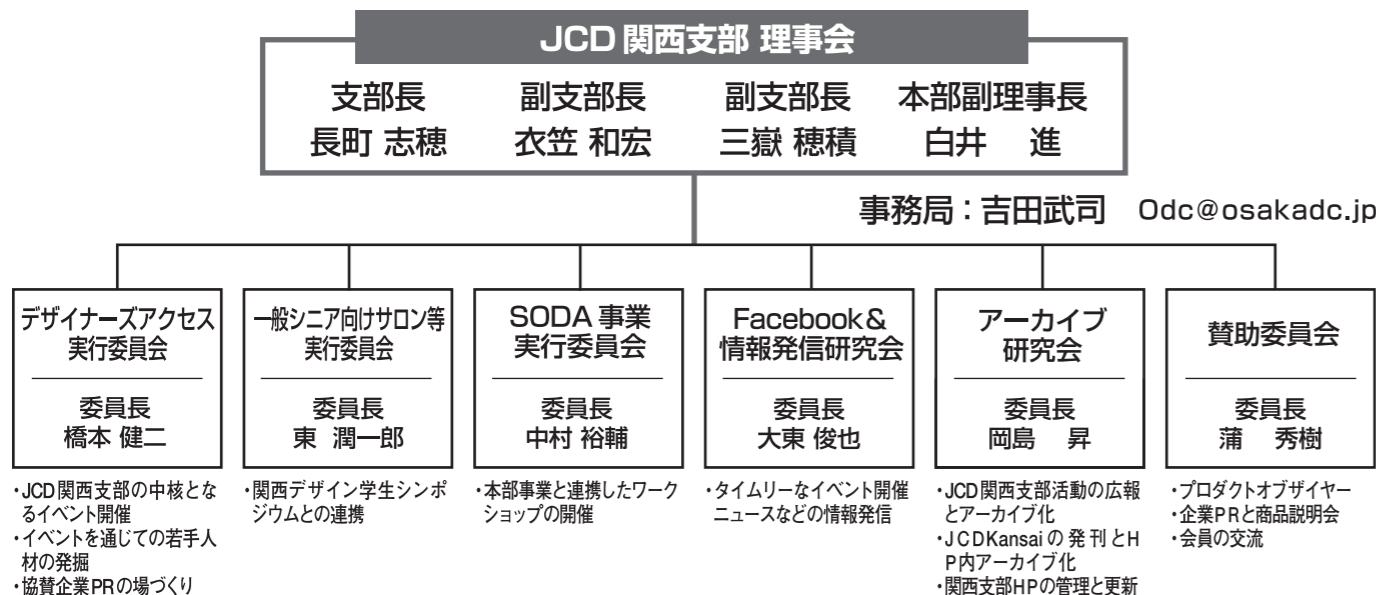
17:00からの総会では、本部総会、事業報告を白井本部副理事長より、関西支部の23年度の事業報告と24年度事業計画を新任の長町支部長より発表されました。また引き続き2012年度から、新たに一新され設置された6つの委員会の各委員長より、あいさつと活動計画が発表されました。

18:00からは賛助会員による恒例のPR会が開かれ、各社とも新しい商材を熱く伝えていただきました。多くの賛助

会員の皆様に参加いただき感謝しております。残念なのは昨年よりは増加しておりますが、支部総会への正会員の参加が賛助会員様より少ないことです。懇親会は賛助会員様との交流会でもありますので、今後はさらに積極的に正会員の参加を呼び掛けていくことが必要と強く感じました。

18:30分からは懇親会が始まり、5月に生まれたばかりのJCD関西支部のFacebook上にてパーティーの様子も伝えられました。歓談が進み、お酒も進むにつれて皆さんの笑顔も増して、楽しい交流の時間を過ごして頂けたのかと思いました。あっという間の2時間でした。

(社)日本商環境設計家協会・関西支部 2012年度組織表



賛助会員による熱のこもったPR会



懇親会風景



関西デザインネットワーク 2012~2013 (USD-O)

JCD本部 副理事長 白井 進

大阪デザイン団体連合(USD-O)では昨年「関西デザインネットワーク2012」を開催し、関西圏で活動するデザイン団体に呼びかけ、関西の新しいデザインビジネスの改革を模索しながら加盟団体の拡充と連帯を計ってまいりました。そしてこの度、その中心的な役割を果たす『大阪デザインサロン』のテスト開催を2月1日(金)18:30から大光電機(株)さんのショールームで行い好評なうちにスタートを切りました。

引き続き加盟団体の若手メンバーを中心に「大阪デザインサロン委員会」を編成し、第2回以降は毎月第2金曜日の定期開催として継続して行きます。下記の『大阪デザイナーズサロン構想について』と共にご報告いたします。興味のある方は、facebook 大阪デザイ

<大阪デザインサロン(テスト開催)>

日時：2012年2月1日(金)18:30~

場所：大光電機株式会社 ショールーム

ンサロンをご覧の上「大阪デザインサロン委員会」への積極的なご参加をよろしく申し上げます。

大阪デザイン団体連合理事会
2012年10月17日
記 奥田

大阪デザイナーズサロン構想について

【背景と課題】

- 大阪デザイン団体連合は関西を拠点として、様々なジャンルで活動するデザイン団体が加盟する連合組織で「デザインの高度化と、地域社会に於ける産業と文化への貢献」活動を後援するとありますが、各団体の会員同士の交流が少なく、その機会も少ない。
- 多くのデザインに関わる専門家が集う団体ですが、大阪府、大阪市等の地域行政との結びつきが小さく、貴重な専門知識や幅広いネットワークが地域行政や、地域の社会に、その能力や機能が十分に生かされていない。
- 世界のデザインに関する動向は大きく変化し、その中心はアジア(シンガポール、香港、台湾、ソウル、上海)の都市に移りつつある中、日本の都市(東京、大阪)のポジションはかつての様にその位置付けを低下させている。
- グローバル化、産業構造の変化に伴い日本の製造業は海外移転し、それに伴って製造業に頼ったデザイン業界は減少傾向にあり、デザイン業界が縮小している。
- 一方、IT技術の急速な発展にともないデザインを取り巻く産業(メディア、情報通信、コンテンツ、ゲーム、etc)がデザインの方法に対する期待は大きく、産業界のデザインの在り方そのものに変化と新しい枠組み(これ迄のジャンルを超えた枠組み)の構築に期待をしている。
- 大阪は日本のデザイン教育の発祥の地でもあり、デザイン教育に関する学校も近畿圏に数多く、多数のデザイン学生を輩出しているがデザイン団体として、これら学校教育にデザイン団体としてあまり寄与していない。

みんなで考えたり議論する場

【大阪デザイナーズサロン構想と狙いと機能】

- 1 ゲートウェイ機能(様々なジャンルのデザイナーが相互に交流する入り口機能)
異なるジャンルのデザイナーが集い、プロジェクトやイベントを共同で運営出来る様な場を提供する。
プロのデザイナーは勿論のこと、未来を担うデザインを学んでいる学生、そしてジャンルを超えて、クリエイティブな活動している(映像・プログラマー、音楽家・イラストレーター・技術者等)作家達も参加し新しいクリエイティブな活動の起点となる様な場(サロン)創りをする。
- 2、ハブ機能(情報の集約と発信機能)
関西圏のデザイナーやクリエイターの意見の集約の場としての機能を持ち、他分野の産業や行政との窓口となる。また行政や他分野の産業に対して会員からの情報発信することで、行政に対して積極的に協力したり、分野の違う産業との協創で、新しい事業やプロジェクトが生まれる等のビジネスマッチング出来る場(サロン)提供する。

特定の任務遂行の為に一時的に編成された組織

タスクフォースの設置

【大阪デザイナーズサロン設置準備委員会(案)】

- 1、委員会
上記の大阪デザイナーズサロン構想に賛同し、且つ、大阪デザイン団体に参加している団体の構成員の中から、準備委員会を設ける。また、本委員会は構成員の自由意志と熱意によるもので、各団体の組織に人員を割り当てるものではなく、その人数も制限しない。
- 2、推進運営
準備委員会委員は定期的に集まってプランを立案すると同時に行政や関係公共団体に働きかけてゆく活動を行う。活動内容は理事会に報告し承認を得る。
- 3、当面の活動拠点は大阪デザインセンターのご協力を得て、大阪デザインセンター船場会議室とする。

【当面の委員会の課題】

- ・サロン機能の具体的な仕組みやルールの検討
- ・サロンの将来ビジョン構想とその目標に向けて活動計画
- ・活動計画に基づくサロン候補の選定とその場所に関する余条件の整理と関係機関との交渉。
(大阪デザインセンター/グランフロント大阪ナレッジサロン)
- ・近畿経済産業局/大阪府/大阪市/大阪商工会議所/大阪デザインセンターとの協力や調整を行う。

● 新入会員紹介 ●

赤松 茂 Shigeru Akamatsu

株式会社コンコルディア 代表取締役



LOUNGE by Francfranc
2012/10 OPEN



Francfranc Singapore Vivo City店
2012/6/1 OPEN



日航ホテル Saigon(ホーチミン)
レストラン「富士」 2012/1 OPEN

● 業務内容

- ・テナントリーシング
- ・商業企画 (MDPLAN作成)
- ・飲食店のコンサルティング業務
- ・CM業務 (コンストラクション・マネジメント)
- ・プランニング業務
- ・プロジェクトマネジメント
- ・店舗開発代行業務 等

● 会社概要

本社 株式会社コンコルディア
〒562-0065 大阪市中央区中寺1-3-23-407
tel/fax(06)6764-5221 mobile 080-1529-6022
e-mail akamatsu@concordia.ne.jp
URL <http://asiaconcordia.com/>
Singapore
ASIA CONCORDIA PTE LTD
113 BUKIT MERAH VIEW #01-532
SINGAPORE 150113
e-mail akamatsu@concordia.ne.jp



松本 浩作 Kousaku Matsumoto

有限会社スタイルマテック 代表取締役



阪急西宮ガーデンズ 天神 MENTビル 総武カントリークラブ 総武コース クラブハウス ハービス ENT

<http://www.style-matec.co.jp>
STYLE MA'TEC Ltd
有限会社スタイルマテック・松本浩作



For LIGHTING DESIGN / 〒541-0041 大阪市中央区伏見町2丁目2-3 伏見ビル2F TEL.06-4707-1288 FAX.06-4707-1289

株式会社オトミカ



Creative direction & Producing Office

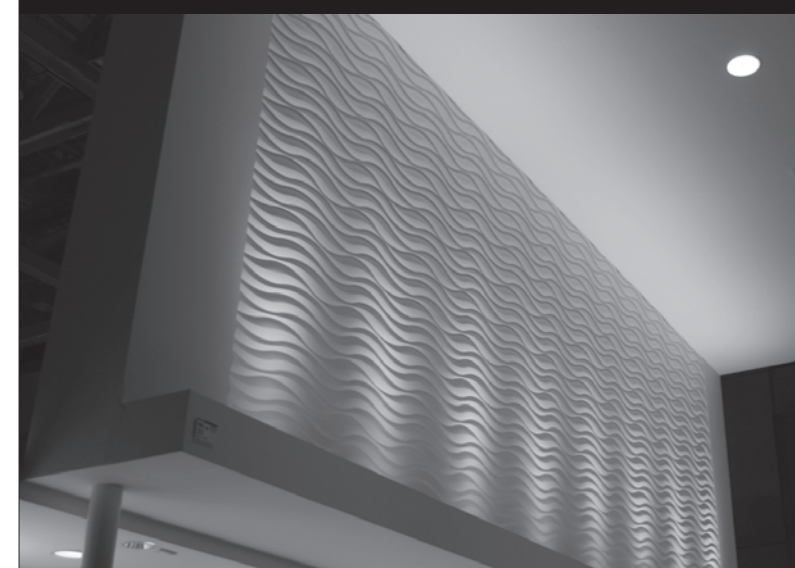
トータルサイン
インクジェット出力
インクジェット壁紙

株式会社 オトミカ

〒536-0004 大阪市城東区今福西4丁目4-23
Tel:06-6167-4470 Fax:06-6167-4490 担当営業 秋本

E-mail: hotomika@rapid.ocn.ne.jp

日本インシュレーション株式会社



不燃意匠内装材

タイカライトウッド^{FX}

リブが織りなす
新しい光のデザイン。

日本インシュレーションは、世界で初めてゾノライト系
けい酸カルシウム板の製造技術を開発したメーカーです。
耐火被覆材「タイカライト」に加え、内装材「タイカライ
トウッド」を製造販売しています。
タイカライトウッドは、白色できめ細かな質感。照明の方
向で表情が変わるリブは、深い陰影や、淡いグラデーショ
ンの影を創り出します。木材でも表現できないエッジのき
いたリブ、モール、レリーフを創作できる無機素材です。
不燃認定材料で、内装制限が求められる部位にも貢献しま
す。また、無機素材ですから、反りや歪みなどの寸法変化
も起こりにくく、各種照明周りでの使用にも最適です。

加工パネルの例

JIC
日本インシュレーション株式会社
www.jic-bestork.co.jp

本社 〒556-0014 大阪市浪速区大国1-1-6
TEL: 06-6633-7323 FAX: 06-6633-5699
担当窓口: 金子



加工パネルの拡大

JCD関西支部ホームページリニューアル

アーカイブ委員会 委員長 岡島 昇

■アーカイブ委員会の活動方針

5月24日、アーカイブ委員会方向性の検討を三嶽穂積（委員会担当理事）さんと打合せを行う。

ここ数年間に渡り利用度の低いホームページの位置づけの見直しや、前広報企画委員長の三嶽理事よりホームページのアーカイブ化の方向性が出され、理事会で決定されました。三嶽氏の出された方向性をもとにアーカイブ化の実行を託され、アーカイブ委員会委員長を岡島が受けることになりました。また、支部総会ではその方向性と内容を岡島から発表しました。

■機関誌「JCD Kansai」の見直し

「JCD Kansai」イベント活動NEWSを年2回程度に適時タイムリーに発刊配布、内容は以前の機関誌の内容を踏襲する。年1回は発刊配布した「JCD Kansai」をまとめ機関誌「JCD Kansai」として発刊します。発刊形態は予算も考慮しましたが従来通り冊子形状とします。

■JCD 関西支部ホームページのリニューアル

「ホームページ」については機関誌「JCD Kansai」のアーカイブとしての機能に集約する。

活動イベント紹介はフェイスブックの機能とする。「JCD Kansai」など古くから残された資料をアーカイブとして保存するためにデータ化を行い、外部から見られるようにHP上で公開

JCDイベント活動は随時発刊したものをホームページ上でストックしていきます。

□ホームページの内容

- 1・JCD関西支部概要
- 2・アーカイブ/機関誌の創刊号からのバックナンバーストック
- 3・活動報告；デザイナーズイベント/デザイナーズアクセス 2012 年度別過去データ
- 4・活動報告；デザインセミナー関係/学生シンポジウム 2012 年度別過去データ
- 5・活動報告；各委員会報告/各委員会活動NEWS 年度別過去データ

その他；facebook とのリンク JCD本部とのリンク
※随時アーカイブ化の充実を図る/タイムリーに更新を図る/担当を決めて推進させる

アーカイブのページでは過去の会報誌がPDF形式で見ることができます

第1号 昭和59年7月発行

40周年記念号

第51号 平成14年6月発行 総ページ数 64P



大丸大阪・梅田店
施主：株式会社大丸松坂屋百貨店
設計：有限会社 ビークスプランナーズ
施工：株式会社 J. フロント建築



啓文堂書店 狛江店
施主：京王書籍販売株式会社
企画・総合監修：株式会社京王エージェンシー
施工：TCL 商環境計画研究所



マクドナルド 六本木ヒルズ店
施主：日本マクドナルド株式会社

選ばれたのは、「遠藤照明のLED」
求めているのは「光の質」
ENDOは、時代のトレンドを的確に捉え、お客様ニーズに対応。
あらゆる空間のLED化を実現します。

LEDZ

遠藤照明のLED照明器具シリーズ

その光を、体感してください。 <http://www.endo-lighting.co.jp/>



シンプル＆高効率「次世代照明」
SOLID TUBE シリーズ



従来光源との比較シミュレーション
高演色 Ra95 シリーズもラインナップ



蛍光灯を超える高効率
直管形 LED LEDZ TUBE シリーズ

遠藤照明最大。7フロア延べ 1,960 m²のショールーム

遠藤照明 大阪・本社ショールーム

TEL 06-6267-7015

〒541-0053 大阪市中央区本町1-6-19

大阪市地下鉄堺筋線「堺筋本町」駅13番出口 徒歩3分
大阪市地下鉄中央線「堺筋本町」駅1番出口 徒歩3分
Open: 10:00-18:00
Close: 土曜・日曜・祝日・夏季休暇・冬季休暇
※完全予約制

お気軽に相談くださいませ。

おかげさまで、平成24年12月3日に大証第一部指定銘柄となりました。 株式会社 遠藤照明

MAXLEDS plus sensitive
シータス CETUS

存在感を主張するスタイリッシュなフォルム、Ra92の優れた演色性を実現する「CETUS」。従来のシータスM・Sに、クラスHID 70WのLED 43.8Wを搭載したシータスLが新たに加わりました。それぞれに、スポットライトとユニバーサルダウンを展開しています。

スタイリッシュなフォルムで、確かな存在感を主張。

maxRAY <http://www.maxray.co.jp>
A Harmony of Light and Space 照明器具の専門メーカー マックスレイ株式会社

大阪支店 大阪市城東区鴨野西4-6-22 〒536-0014
TEL.06-6967-0123 FAX.06-6967-0837
東京 大阪 名古屋 福岡

三嶽穂積氏追悼文

白井 進

昨年の役員改選で、JCD関西支部の数多くの会員に指示されて理事に当選されて、これからさらに大きく活躍の場を広げようとした矢先の突然の訃報に言葉を失ってしまいました。

この数年共に活動をしてきた様々な会務をふり返り、体調が万全でないことはご本人からお聞きしていたことでもあり、必要以上のご負担をかけてしまっていたのではとの思いがつのるばかりです。

三嶽さんは長期間にわたり、JCD関西支部の広報委員会で情報公開にご尽力され、常に冷静で偏らないバランス感覚を保つリーダーとして、終始穏やかな中に少しもぶれることのない統率力を発揮するこれからのJCDには欠かすことのできない素晴らしい人でありました。

三嶽さん、ありがとうございました

長町 志穂

突然の訃報に驚き、その存在の大きさに愕然としたあの日からあつという間に春になりました。

三嶽さんは、長年JCD関西の広報誌の達人編集長として手腕を振るわれ、昨年からは理事としてさらに協会の発展に貢献しようとする多くのアイデアを熱く語られていた矢先の出来事でした。

勝手気ままなデザイナー達を叱咤激励し、記録や報告文を集め、滞ることなく広報誌を発刊され、またJCD関西のホームページ開設にもご尽力された功績は素晴らしいものです。

三嶽穂積氏を偲んで

衣笠 和宏

私が最初に訃報を受けた時、まさかご本人とは思いませんでした。

何度もそこに書かれていたお名前を読み返し、念のためとお名刺を確認してしまいました。

それ程、信じたくない出来事でした。今も中々受け入れられずに、この文を書くのも時間が掛かってしまいました。いまだに深い悲しみでいっぱいです。

思えばJCDの委員会で初めてお会いしてから、交流委員会の催しにはいつも変わらない穏やかな笑顔で皆様と楽しんでおられた姿が昨日の事の様に目に浮かびます。

昨年理事に就任され、これからもJCD関西支部活動を担っていただけたらと思っていた矢先で、残念でなりません。一時期体調が万全でなく辛い時期もありだっ

理事就任と同時にさっそく支部の機関誌とホームページの見直しにとりかかり、紙媒体の機関誌をアーカイブに特化し、ホームページの一部をフェイスブックに移行して、タイムリーな情報公開に大きく舵をきるべく提言を行いました。

そんな熱意はたちまち浸透し、今後の発刊が危ぶまれた「JCD kansai」は継続され、今回のJCD kansai 68号がその三嶽穂積氏の追悼号であります。

大きな大きな喪失感は消え失せませんが、私たちはそんな志なかばで逝ってしまわれた三嶽穂積さんのご遺志を引き継ぎ、協会活動を皆様と共に力を合わせてしっかりと努めていきたいと考えます。

三嶽穂積理事のお姿を偲び、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

そして何よりも、どんな切羽詰まった状況やピリピリした空気になっても穏やかさや優しさを常に保たれていたお人柄が、多くの人に慕われ愛されていた理由だと思います。

私にとっても大学の先輩でもあり、JCDメンバーの中でも特にリラックスして何でもお話しできる方でした。

私や皆さんの多くの感謝の気持ちが天国の三嶽さんに届き、またいつの日かどこかでお会いした時にも素敵な友人になれることを祈りたいと思います。

たようにも見えましたが、「ここ最近は身体が軽くなったような気がするわ。」とおっしゃって笑顔で話されていたところでした。

永年にわたり広報委員会に於いてご尽力下さり、大変な作業を一つ一つされていた誠実で実直な方でした。本当に残念です。

今回JCD Kansai 68号が 三嶽穂積氏の追悼号になります。

私達も三嶽穂積氏の志を引き継ぎ、皆様のご協力の下、一生懸命勤めて参りたいと思っております。何卒宜しくお願いいたします。

三嶽穂積理事の永年の功績に感謝致し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

Panasonic

肌の色は美しく、
モノの色は自然に見せる光。

美光色

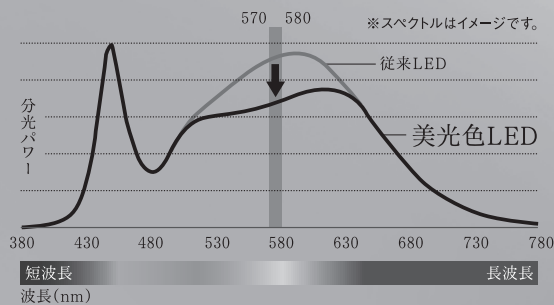
びこうしょく



ダウンライト100形

肌のくすみが目立つ原因となるスペクトルを調整。

パナソニック独自の光のスペクトル制御技術で、
波長570nm～580nm前後の光の成分を調整。
肌の色をより美しく、より自然に再現します。



84%のお客様に、
肌がキレイに見えると
ご体感いただきました。

株式会社マーケティング
スペース調べ

お問い合わせ先…パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 エンジニアリング総合センター 大阪商業照明EC
〒540-6217 大阪府大阪市中央区城見2丁目1番61号 OBPパナソニックタワー17階 TEL.06-6945-7805

詳しくはWEBサイトをご覧ください。 [エバーレックス 美光色 おすすめプラン](#) [検索](#)

パナソニックLED
EVERLEDS
エバーレックス